

インフォメーション

病院・福祉施設の

看護・介護スタッフ募集



まずは、お電話ください。
面接時に詳しい勤務体系等
ご説明させていただきます。

勤務時間 ▶ 法人規程による
給与・休暇 ▶ 入職施設により異なる
待遇 ▶ 詳細面談にて説明
勤務先 ▶ 右記の施設

清水会グループ 統括本部
採用係
☎06-6952-5188
〒535-0022 大阪市旭区新森3丁目1-12

医療法人 清水会

- 鶴見緑地病院
- おひさま園

社会福祉法人 清水福祉会

- さくら苑
- ケアハウス鶴見緑地
- 城東こすもす苑
- 鶴見緑地苑



編集後記

- ▲特集に「ドクター座談会」を企画した。専門の立場から鶴見緑地病院の現状と未来を語って頂いたが、紙面の関係上多くは掲載できない事が心苦しかった。何とか、先生方の医療に対する熱い思いを出せればと苦慮したが心配である。
- ▲改めて、「広報誌」作成に関わり、物事を伝える表現する事の難しさを知った。過ぎてても少なすぎて真意が伝わらない事がある。どちらかと言えば「過ぎたるは、なお及ばざるが如し」で、やり過ぎや度を越した表現はかえってマイナスとなるのだろうか。
- ▲イソップの「北風と太陽」を改めて読んだ。簡単明瞭でストレートに真意が伝わってくる。読者が、太陽のような在り方を素直に感受できるのは不思議である。広報に関わる者としてその表現力は羨望的である。

清水会グループ



医療法人 清水会
鶴見緑地病院
〒570-0044 守口市南寺方南通3-4-8
☎06-6997-0101 図06-6992-0151



医療法人 清水会
介護老人保健施設 おひさま園
〒535-0021 大阪市旭区清水2-1-21
☎06-6952-0101 図06-6957-0202



医療法人 清水会
ミズノ胃腸科内科整形
〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-31
☎06-6952-5058 図06-6952-5311



医療法人 清水会
訪問看護ステーショントム・ソーヤ
〒535-0021 大阪市旭区清水2-1-21 (おひさま園内)
☎06-6956-0505 図06-6956-0808



社会福祉法人 清水福祉会
介護老人福祉施設 さくら苑
〒535-0021 大阪市旭区清水3-15-23
☎06-6957-8008 図06-6957-8009



社会福祉法人 清水福祉会
サービスセンター さくら苑
〒535-0001 大阪市旭区太子橋2-8-31
☎06-4254-3003 図06-6951-1001



社会福祉法人 清水福祉会
介護保険特定施設 ケアハウス鶴見緑地
〒570-0044 守口市南寺方南通3-4-16
☎06-6998-3003 図06-6998-3001



社会福祉法人 清水福祉会
特別介護老人ホーム 城東こすもす苑
〒536-0016 大阪市城東区蒲生2-2-38
☎06-6933-2002 図06-6933-2333



社会福祉法人 清水福祉会
特別介護老人ホーム 鶴見緑地苑
〒570-0032 守口市菊水通3-16-2
☎06-6995-5005 図06-6995-5225



医療と介護。そして、その未来へ。



Seisui

Contents

- 02・03 鶴見緑地病院 ドクター座談会
 - 04・05 close-up／おひさま園、トム・ソーヤ
 - 06 close-up／鶴見緑地苑
 - 07 close-up／鶴見緑地病院
 - 08 インフォメーション／編集後記／清水会グループ
- 表紙写真／サザンカ (山茶花) と新雪

2012.01 Vol.03

病院と老健施設がセットの強み

——（聞き手・編集部）昨年も、新たに二つの特別養護老人ホームが開設されるなど、ウイングを広げゆく清水会グループにあって、その基幹病院としての鶴見緑地病院の存在が一段と重要になってきたと思います。

山本 その通りですね。病院と老健・福祉施設がセットになっていることによって、患者さんのデータを共有できる、病院と関連施設間の移動がスムーズに行えるなど、メリットは大きいと思います。高齢化社会が進み、認知症患者が増えてくる状況下にあっ



山本義尚 医師
〔診療科〕 内科
〔専門分野〕 一般内科 血液内科
〔役職〕 部長

て、こうしたシステムは、ますます重要になってくるのではないのでしょうか。

伊達 同感です。そのためにも、法人の基幹病院としての位置付けに応えられるバリエーションの豊かさが重要です。急性期の病棟もあり、回復期のリハビリ施設もあるという形で、患者さんの回復過程に合わせて受け入れながら、回復されたらご自宅や特別養護老人ホームに帰っていかれるという点で、良いパターンではないかと思います。

堀内 私は別の視点から、その重要性を考えています。関連施設で働く職員のプレッシャー軽減に役立っているという点です。入所者に万一の事態が生じた時に、迅速に対応できることで、職員が安心して働ける。それがひいては入所者にとってもプラスになっています。

山本 今、いろんな角度からお話がありましたように、鶴見緑地病院の存在は大変大きいと思います。その大きさに応えるためにも、システムの充実を図っ

ていきたい。たとえば、病院の電子カルテ網を関連施設に延ばし、情報の共有化やモニター診断システムの導入で各種専門スタッフが、介護・医療の両面から安心のサポート体制を提供していく事ができると考えています。

地域の病院間の連携も大事に

——清水会グループが掲げる理念の一つに「地域貢献」があります。医療の面から言えば、具体的にどのようなことを意味しますか。

安田 私の専門はリハビリですが、たとえば脳卒中でマヒになっても、鶴見緑地病院のリハビリ科に任せれば大丈夫だと、地域の方や地域の病院の先生方から推薦して頂ける病院でなければならないと



安田徳光 医師
〔診療科〕 リハビリテーション科
〔専門分野〕 リハビリテーション科
〔役職〕 部長

考えています。当院では、そのようなリハビリを提供できるように日々研鑽しております。

山本 また、「地域貢献」の視点からは、夜間の救急医療体制の充実を抜きには考えられません。病気はいつ何時襲ってくるかわかりません。そのような場合に、夜間でも確実に入院できるシステム、あるいは総合病院へ紹介できるシステムを作っていく必要があります。当院はその期待に応えてきたから、地域の信頼を得て、発展してきたのだと思います。今後もさらに救急医療の充実に取り組んでいきます。

伊達 それに加えて、地域の病院間の連携も大事な要素になっていると思います。急性期の患者さんとか、特殊な治療が必要な患者さんで、近隣の大学病院等で治療を受けた後に、回復期のリハビリを当院でお受けになる方が多くおられます。このように、地域の病院と連携を取りながら、さらにご自宅と

地域密着医療に専心

清水グループの基幹病院としての役割

も連携を密にしながら治療を進めております。

熟達セラピスト養成に全力

——それぞれの科が抱える課題はありますか。またその課題克服のための取り組みをお聞かせください

安田 リハビリ学会の最大の問題は、セラピストの教育をどうするかという点です。現在の医療制度の下では、きちんと教育されていないために十分なリハビリが施せず、“なんちゃってリハビリ”と揶揄（やゆ）されるようなセラピストが増えています。当院では、「一人の熟達したセラピストでは十人の患者しか治療できないが、その一人が十人のセラピストを熟達させれば百人の患者の治療ができる」との考えに立って、セラピストの質を向上させる技術指導に力を入れて取り組んでいます。

堀内 グループの基幹病院としてのポジションを考



堀内収 医師
〔診療科〕 外科
〔専門分野〕 外科

えると、介護施設が増える分入所者への対応が増えます。おのずから病院のベッド数には限界があるわけで、地域の患者さんの診療とどのようにバランスをとっていくか、喫緊の課題ですね。そのためにも病・病連携等の地域でのネットワーク作りが欠かせません。診療を地域のネットワークで対応していく体制作りが大事だと思います。

医療の根底に思いやりの心を

——最後に、日々の診療に際してモットーにしておられることをお聞かせください。

山本 私は、日々の診療において、常に頭にあるのは、「どんなに医療環境が変わっても、とにかく人を

助けたい」ということです。患者さんと向きあって仕事をしている以上、思いやりや優しさが重要であると思っています。医療行為だけですべて片付く問題ではありません。患者さんが、診療を受けて良かったと思えるような優しさが医療行為の根底になければならないのではないのでしょうか。

堀内 医療の方向性の一つとして、病院の機能分化と連携が謳われています。大学病院等では、最先端医療に取り組むことが評価の対象になります。しかし、「私どもの病院に求められるのは何か」を常に考えて、病院の個性を生かした医療を提供していくことが大事だと考えています。患者さんはそれを期待しておられるのだと思うのです。そのことを念頭に置いて、診療に当たっています。

伊達 医療におけるトレーニングは、筋肉トレーニングと同じで、毎日やっていないと衰えてしまう



伊達佳子 医師
〔診療科〕 リハビリテーション科
〔専門分野〕 リハビリテーション科
〔一般内科〕

とされています。たとえばレントゲン写真を読むなど、毎日の積み重ねが大切かと考えます。毎日トレーニングしておいてはじめて急な場面に直面しても対応できると思うのです。

安田 鶴見緑地病院のリハビリテーションを、日本のトップレベルに押し上げ、それを長期にわたって維持すること。それが私の目指すところです。そして、当院で育ったセラピストが、「鶴見緑地病院のリハビリの教育を受けたセラピストです」と、誇りを持って羽ばたいてほしい。そして、それぞれの地で貢献していつてくれることを願っています。

The Discussion Meeting of Doctors

温かい心の触れ合いで楽しい日々を!

「おひさま園」は、看護や介護を必要としている方に、明るい家庭的な環境の中で、入所または通所の形で介護やリハビリテーションを受けて頂く施設です。そして、より早く、住みなれたご自宅に復帰して頂くことを目指して、地域やご家族と密接に連携を取りながら、皆様の生活のお手伝いをさせて頂いています。

インタビュー



吉岡章夫施設長

——最近是个室タイプの施設が増えていると聞きますが。

吉岡 「おひさま園」は、介護保険制度ができる前にできた施設で、大部屋タイプが中心です。個室のメリット、大部屋のメリットがそれぞれあるわけで、4人部屋で入所者が仲良く、一つの社会生活を送るという面は大部屋タイプのメリットですね。皆さん楽しく生活されていますよ。

——施設の運営で留意されていることは何ですか。

吉岡 一つは、終の棲家ではありませんが、入所している間は、ここで暮らしていることが楽しいと思って頂けること。二つには、ご家族との関係を絶やさないことです。たとえば、洗濯も基本的にはご自宅でして頂くようにしています。簡便な方法を取ればそれだけご家族との交流が希薄になる。それを避けたいというのが趣旨です。

——入所していることが楽しいと思って頂ける工夫は。

吉岡 現在は、夏と冬の二回、お祭りを催しています。お祭りを開催することの意義は、その日一日、ご家族と楽しいひとときを送って頂くことです。夏休みと冬休みに合わせて開催することで、お孫さんも参加できます。ゲームをはじめさまざまな企画を組んで行っています。お正月に初詣に行きたい人のために、近くの神社から宮司さんに来てもらい、ご祈禱を行っています。入所者もデイケアの人も皆さん、大変喜んでます。

——職員の方のご苦労も大きいと思いますが。

吉岡 確かに大変です。困らせる行為をする人もいます。でもその人にはその人の理由があるわけで、ゆっくり聞いてあげれば大抵は通じるものです。職員は、基本的には福祉の仕事をした以上、人のためにになりたいというのが動機だと思います。常にその初心に立って接していくようにと言っています。入所者を一人の人格として見てあげる。ですから、必ずその人の名前を呼ぶようにして、おじいちゃんとかおばあちゃんと呼ばないように指導しています。

——「おひさま園」に入所してよかったとの声を聞きますが。

吉岡 一旦当園を出て他の施設に移った人が、再び帰ってこられるケースがあります。「おひさま園」は、よく言うことを聞いてくれる、したいことをさせてくれると。有り難いことです。快適な生活空間を提供するという方針の結果だと思っています。



澤田清事務長代理

新任のごあいさつ

「おひさま園」は、介護老人保健施設ですから、病院に入院していた方がご自宅にお帰りになるまでの、中間に位置する施設です。そこが終の棲家となる「特別養護老人ホーム」や「有料老人ホーム」との違いです。

ご自宅に帰って頂くという本来の目的を全うしていくために、全職員が一丸となって利用者様に接していくことが大事だと考えています。お一人おひとりの目標をしっかりと立て、一人でも多くの利用者様がその目標に従ってご自宅にお帰りになることを目指したいと思っています。

明るい家庭的な環境の中で、地域社会やご家族と密接に連携しながら在宅復帰に向けて充実サポート。

***** おひさま園 各種サービスのご案内 *****

通所リハビリテーション (デイケア)

通所の形で、機能回復訓練・入浴・食事などのサービスをうけて頂けるサービスです。



訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーションとは

訪問リハビリテーションでは通院などが困難な方のご自宅にリハビリスタッフが訪問し、身体機能の回復や維持のために様々な訓練を行い日常生活の改善を目指して実施していきます。また、主治医やケアマネージャー等と連携し、利用者様の日常生活における自立困難な問題点を分析し、ご家庭で安心して生活ができるように支援していきます。さらに、住宅改修や福祉用具利用時のアドバイスにも応じています



***** 訪問看護ステーション トム・ソーヤ 医療法人 清水会のバックアップで安心のサポート *****

訪問看護サービス

ご自宅を看護師が訪問し、看護サービスを提供し、在宅療養をサポートする制度です。寝たきり、または寝たきりに準ずる状態の方や、病院に通院できない方、ご自宅で継続して療養を希望する方などで、かかりつけ医師が訪問看護を必要と認めた方がご利用頂けます。

医療法人清水会の各施設(ミズノ胃腸科 内科整形・鶴見緑地病院・おひさま園)のバックアップで安心のサポート体制を整えています。

在宅療法・
看護サービスに関する
ご相談に親切対応



OPEN 昨年11月 特別養護老人ホーム「鶴見緑地苑」がオープン! アットホームな時間を提供

昨年11月1日、守口市に特別養護老人ホーム「鶴見緑地苑」がオープン。これに先立ち、10月26日に、守口市・地元町会の代表、施工業者等多数の来賓を招待して、竣工式が盛大に行われました。また、同30日、31日の両日にわたって内覧会が行われ、多くの来苑者で賑わい、苑内の各施設を見学しました。「鶴見緑地苑」は、お一人おひとりの個性を大切にすることを第一に考え、全室、個室・ユニットケアを採用しています。一方、サポート面では、各種専門スタッフが力を合わせ、介護・医療の両面から安心のサポート体制を整え、快適な生活を過ごして頂けるサービスを提供させていただきます。

竣工式での水野理事長の挨拶(抜粋)



本日ここに、守口市の代表の方々、地域の皆様、設計並びに建設各社はじめ多数の皆様にご来臨賜り、盛大に竣工式を挙行することができました。心より御礼申し上げます。当苑が、地域に深く根付き、愛される施設になりますよう、

最善を尽くして参る所存です。何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



思いやりあふれる生活空間



地域交流室



居室



大浴場



介助入浴設備

泌尿器科 外来のご案内

初診で、最初に行われるのは、問診です。具体的にどんな症状があって、日常生活上、どんな支障があるのかを詳しく聞いていきます。尿検査や血液検査、超音波検査など身体に負担のかからない検査をまず先にやって、その結果に応じて必要な検査をプラスしていきます。

●当院では、**月・水・土の午前診に泌尿器科外来**を行っております。

※診療時間9:00～12:00(※月曜日のみ9:30～)

下記の症状でお悩みの時は、お気軽にご相談ください。

■尿のお悩み

●近い(頻尿) ●出にくい ●漏れる(失禁)

●血尿 ●濁り ●臭い など

■腎臓・膀胱・前立腺・尿道・精巣(睾丸)のご相談

●腫れ ●痛み ●炎症 ●結石 ●癌

●健診結果異常 など



秦 健一郎 先生
月曜日 午前診
(9:30～12:00)



井上 貴昭 先生
水曜日 午前診
(9:00～12:00)



西田 晃久 先生
第1・3・5週土曜日
午前診(9:00～12:00)



杉 素彦 先生
第2・4週土曜日
午前診(9:00～12:00)

皮膚科 外来のご案内

文字通り、皮膚科は皮膚の病気を診察、治療するところです。手足、顔、身体から耳、鼻、口の中まで器具を使わずに肉眼で見える範囲が皮膚科の診察範囲です。さらに皮膚の付属器として爪や毛があります。ですから爪や毛髪の疾患も皮膚科で扱っています。餅は餅屋、皮膚は皮膚科、皆様の皮膚のかかりつけ医としてお役にたちたいと思っています。皮膚に何かあれば皮膚科専門医にご相談くださるようお勧めいたします。

●当院では、**火・金の夜診に皮膚科外来**を行っております。

※診療時間17:30～19:30

下記の症状でお悩みの時は、お気軽にご相談ください。

■主な皮膚病

●湿疹／かぶれ(接触皮膚炎)／アトピー皮膚炎／
やけど(熱傷)／日焼け／しもやけ／ウオノメ／タコ／
爪の病気／脱毛(若年性脱毛「AGAを含む」)

●おでき／とびひ、などの細菌性の皮膚病

●ヘルペス／水イボ／水ぼうそう、などのウイルス性の皮膚病

●水虫／カンジダ症、などのカビによる皮膚病

●肌あれ／身体のカサカサ・かゆみ／じんましん など



上野 麻衣 先生
火曜日 夜診
(17:30～19:30)



大澤 学 先生
金曜日 夜診
(17:30～19:30)